

指標名：景気動向指数（2009年7月）

発表日：2009年9月9日（水）

～ 一致CIは4ヶ月連続、先行CIは5ヶ月連続で上昇～

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 主任エコノミスト 新家 義貴  
TEL:03-5221-4528

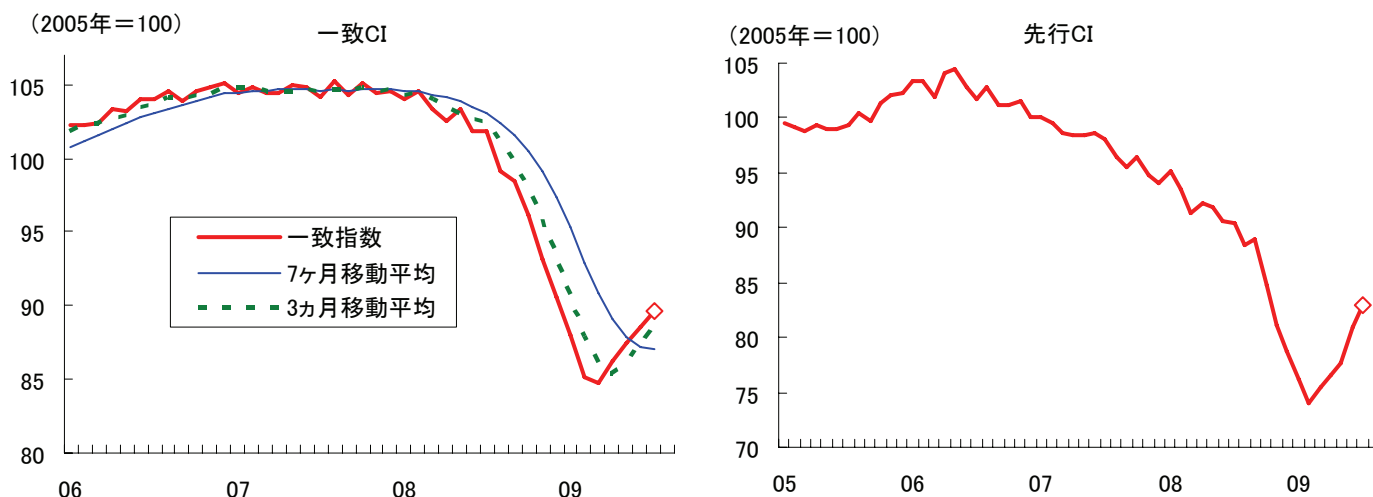
## ○ CI一致指数は4ヶ月連続で上昇

09年7月の景気動向指数では、CI一致指数が前月差+1.0ポイントとなり、4ヶ月連続で上昇した。輸出の増加や在庫調整の進展等を背景として一致CIは09年3月をボトムとして上昇しており、景気が回復基調にあることが示されている。また、CI先行指数は前月差+2.1ポイントと、5ヶ月連続の上昇だった。上昇幅もかなり大きい。景気ウォッチャー調査など、景気に先行する傾向のある経済指標の一部で今後の景気減速を示唆するものも出ているが、CI先行指数からは、まだ景気減速のシグナルは窺えない。

## ○ 基調判断は現状維持。「局面変化」への上方修正は9月分公表時か

内閣府によるCI一致指数の基調判断は、「下げ止まりを示している」となり、前月から判断が据え置かれた。内閣府が設定している基調判断は、「悪化」→「下げ止まり」→「局面変化」→「改善」の順番で上方修正されていくが、「下げ止まり」から「局面変化」へ上方修正されるための「7ヶ月後方移動平均の符号が変化し、1ヶ月、2ヶ月、または3ヶ月の累積で1標準偏差分以上逆方向に振れた場合」という基準を今月は満たさなかったため、現状維持となった。なお、内閣府の定義によると、「下げ止まり」とは「景気後退の動きが下げ止まっている可能性が高いことを示す」、「局面変化」とは、「事後的に判定される景気の山・谷が、それ以前の数か月にあった可能性が高いことを示す」とされている。

8月分で「局面変化」へ上方修正されるためには前月差+2.0ポイントが必要である<sup>1</sup>。条件を満たす可能性も否定はできないが、ハードルは高めである。「局面変化」への上方修正は、9月分の公表時になる可能性が高そうだ。また、仮に9月分で「局面変化」に上方修正された後に、10月も前月差上昇となった場合には、10月分で「改善」に上方修正される見込みである。



<sup>1</sup> 9月18日公表の7月分改訂値で上方修正される可能性があることは考慮していない。